

元気いっぱい! 夢いっぱい!

菊池っ子だより

vol.76

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

☎学校教育課 ☎0968(25)7231



菊池北中学校

10月1日 菊池の昔話で学ぶ



紙芝居「片角の庄屋さん」は、昨年「世界かんがい施設遺産」に登録された築地井手が舞台になった昔話です

菊池の昔話を紙芝居で伝える「妻籠座」の井上エミ子さん(高野瀬)に読み聞かせをしてもらいました。コロナ禍でも読書推進に意義のある読み聞かせを絶やさないとZoomで実施。生徒は「昔の人のように人の役に立ちたい」と感想を述べ、昔話の中から学びを得たようでした。

泗水中学校

10月25日 特攻兵を題材にした演劇



実在の特攻兵・宮川三郎さんを演じた服部巧さんは「役として演じるとどれだけ辛かったのかと考えさせられた」と話しました

3年生が学習発表会で戦争劇「ホタル帰る」を披露。実在の特攻兵の知覧飛行場での暮らしぶりや当時の様子を迫真の演技で表現。3年生の演技レベルの高さに会場中が圧倒されました。他にも、生徒作成の実物大の零戦や各学年による総合的な学習の時間での学習成果も展示されました。

10月～ 地域とともにある学校を目指して



学習サポートや読み聞かせをしてもらいました。児童やボランティアの皆さんも久しぶりの再会がとても嬉しそうでした

1～3年生の学力充実の時間や朝の読み聞かせの時間にボランティアグループ「ワンダーばんこ」をはじめとした地域の皆さんに協力いただいています。今年は新型コロナのため開始時期を延期し、10月からスタートしました。今後も、感染状況を見極めながら、地域に根差した学校を目指します。

旭志小学校

10月29日 元気にすくすく育てね



「イチョウには雄と雌があってね」「このハナミズキはアメリカ原産だよ」といった説明を聞き、校庭の木々がより身近に感じられました

緑化運動推進のため、菊池地域みどり推進協議会と菊池郡市の市町の共催で毎年実施される「菊池地域森づくりの集い」の一環で6年生がソメイヨシノ2本を植樹。校内にある木々の名前やその由来、育ち方などについて、森林インストラクターから詳しい説明を聞き、木の銘板を取り付けました。

花房小学校

11月5日 花で笑顔もいっぱい



児童は「地域の人に喜んでもらえたらうれしい」と話しました。今後はきれいに咲き続けるように水かけや肥料まきを行います

5年生12人と4年生10人で花房公民館館長の緒方純一さん(花房台)と社会福祉協議会会長の米村隆一郎さん(上出田)と一緒に公民館の花壇にビオラとパンジーを植えました。花壇を花でいっぱいにし、児童たちも笑顔に。次年度、学校のリーダーになる5年生は一回り成長したように感じました。

泗水東小学校

市内3高校の魅力伝えます!

高校魅力化全力通信

vol.33

今月は 菊池農業高校

問い合わせ先 ☎0968(38)2621



1年生による手刈り実習

6月に手植えをし、その後は農業科3年の作物専攻生を中心に管理を続けていた水田に、今年も立派なコメが実りました。10月に入り、1年生(農業科、園芸科、畜産科学科、食品化学科、生活文化科)がイネを収穫。のこぎり鎌が不慣れたため、危なっかしい手つきでなかなか作業が進みませんでした。徐々にスムーズに刈ることができました。収穫したコメは毎年11月に行う収穫感謝祭で生徒みんなで食べていますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止に。新米は各自持ち帰り、家庭で食べることになりました。家族で収穫の秋を感じてもらえるとうれしいです。

生徒が育てた「菊農米」



インストラクターの指導によるドローン操縦体験

10月6日、農業科の3年生を対象にドローン講習会を行いました。前半はドローンを安全に利用するための航空法や農業への活用状況などの講義。後半は同校のトラクタ演習場で、農業散布用の大型ドローンの実演や小型ドローンの操作を体験しました。講習会に参加した山下駿吏さんは「ドローンの操縦は思ったより難しかった。ドローンを活用した効率的な農業を学ぶことができました」と話しました。12月には無人トラクタやアシストスーツを活用したスマート農業の講習会を計画しています。

スマート農業体験
ドローン講習

9月18日、農業科の1年生や生徒会、農業クラブ役員の生徒たちが、地域課題解決のための実践力を身に付けるため、持続可能な開発目標(SDGs)について学びました。「SDGs」とは2015年の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でより良い世界

ESD(エスディ)学習会

10月16日、泗水東保育園の年長から年少児62人が本校で芋掘り体験しました。「大きいのがあったよ」と大歓声を上げながら、みんなでお楽しみしていました。収穫したサツマイモは各家庭に持ち帰ったり、保育園で大学芋やスイートポテトなどのおやつとしてみんなで食べたりました。

元気いっぱい!
園児が芋掘り体験



を目指す国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。この日は九州地方ESD活動支援センターの勝家伸男さんを講師に迎え、ワークショップ形式で実施。身近な生活や地域での課題を上げ、解決に向けたアプローチの方法を学びました。グループごとにさまざまなアイデアが発表され、有意義な学習会になりました。生徒会長で畜産科学科3年の延吉七海さんは「SDGsという言葉は知っていましたが、難しい施策のようなイメージがありました。カードゲームなど分かりやすい方法で学習し、私たちにもできることがたくさんあると実感しました。寮のご飯を残さないといった一人一人の生活を見直すことで目標達成につながる事が分かりました」と感想を述べました。



今後も菊農らしい活動を通して、SDGsに取り組んでいきます